

2018年1月22日

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

社会福祉学術文献表彰事業

第19回「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」受賞文献等の決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団（理事長：二宮雅也）は、社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の受賞文献を決定しました。また、損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の審査過程で、財団賞には及ばないものの、優れた著作（佳作）であると評価された、特に若手の著者を対象とした奨励賞の受賞を決定しました。なお、受賞者には2018年3月1日（木）に、損保ジャパン日本興亜本社ビル（東京都新宿区）において贈呈式を開催します。

1. 損保ジャパン日本興亜福祉財団賞（賞状・記念品と研究・出版助成金100万円）

（1）受賞文献

著書名：『福祉政治史—格差に抗するデモクラシー』

著者：田中 拓道氏（一橋大学大学院社会学研究科 教授）

出版：株式会社 勁草書房 2017年2月発行

（2）「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」について

本賞は、日本における優れた社会福祉学術文献を表彰する制度です。

1999年に創設し、今年度で19回目となります。

同賞が、社会福祉学の学問的探求を目指す方の研究意欲の促進につながり、その研究成果が日本の社会福祉の発展に大きく寄与することを目的としています。

過去の受賞者（要旨）についてはこちらをご覧ください。

http://sjnkwf.org/katsudou/hyousyou_list.html

（3）受賞記念講演会について

2018年7月7日（土）には、グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）において、受賞者による講演会の開催を予定しています。

2. 損保ジャパン日本興亜福祉財団奨励賞（賞状・記念品と研究・出版助成金各50万円）

・著書名：『里親であることの葛藤と対処—家族的文脈と福祉的文脈の交錯—』

受賞者：安藤 藍氏（首都大学東京都市教養学部都市教養学科人文・社会系 助教）

出版：株式会社 ミネルヴァ書房 2017年2月発行

・著書名：『〈自立支援〉の社会保障を問う—生活保護・最低賃金・ワーキングプア—』

受賞者：桜井 啓太氏（名古屋市立大学大学院人文社会学部人間文化研究科 講師、
大阪市立大学人権問題研究センター 特別研究員）

出版：株式会社 法律文化社 2017年2月発行

<損保ジャパン日本興亜福祉財団について>

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の出捐を受け、社会貢献活動の一翼を担う財団として設立された公益法人です。同財団の主な活動は本事業のほか、社会福祉団体に対するNPO基盤強化資金助成、自動車購入費助成、海外助成、介護福祉士養成のための奨学金の給付、社会福祉・社会保険・損害保険・ジェロントロジー等に関する研究助成や研究会・講演会の開催を行っています。

以上